

平成 25 年度 第 4 回 日本 NGO 連携無償資金協力
「カンボジアの農村地域における地域学習センター普及事業」
贈与契約署名式典
隈丸 優次大使 スピーチ
2013 年 11 月 29 日（金） 於：日本国大使館多目的ホール

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会（SVA）
カンボジア事務所 所長 山本 英里 様
ご列席の皆様

本日、日本 NGO 連携無償資金協力案件である、シャンティ国際ボランティア会（SVA）の「カンボジアの農村地域における地域学習センター普及事業」の贈与契約署名式典を開催することができ大変喜ばしく思います。

シャンティ国際ボランティア会（SVA）は、過去 30 年以上にわたりカンボジアで様々な支援活動を展開されてきておられ、日本政府としまして、これまで緊密に連携協力させて頂いています。シャンティ国際ボランティア会（SVA）は教育及び人材育成分野の支援を中心に活動されていると承知しておりますが、今回のプロジェクトも地方の識字率向上に大きく貢献するものと期待しております。

カンボジア政府の掲げる国家開発戦略である「四辺形戦略」においても人材育成に重点が置かれていますが、日本政府も、小・中学校の校舎建設、教員養成校の理科実験棟の建設など、ハード面への協力とともに、理科教員養成のソフト面への支援も進めています。

今回、SVA が日本 NGO 連携無償資金協力をとおして実施される事業は、コンポントム州及びシアムリアップ州の農村地域 2 箇所に、地域学習センターを建設するものです。2008 年のカンボジア人口センサスによると、15 歳以上人口の識字率は、都市部が約 90% であるのに対し、郡部は約 73% に留まり、特に、農村地域における女性の識字率の低さが目立ちます。都市部と郡部の識字率格差が、生活レベルの格差に反映されているとも言えます。

カンボジア教育・青少年・スポーツ省は、教育戦略計画のノン・フォーマル教育拡大プログラムにおいて、青少年及び成人に対する識字教育の充実を目標に掲げ、全国に地域学習センター建設と、地域学習センターでの機能的な識字教育のための環境整備を目指しており、本事業の実施は、これらの目標達成を後押しするものであります。

本事業を実施することにより、コンポントム州コンポンスヴァイ郡ニーベック集合村及びシェムリアップ州クロライン郡ロンコー集合村の村民およそ 9,200 人が、識字教室を通じた読み書き・計算の基礎能力の獲得、更には生活改善のために必要な保健衛生などの知識を得ることができるようになります。

最後になりますが、日本 NGO 連携無償資金協力は日本の NGO が実施する草の根レベルに直接裨益する経済・社会開発事業に対して供与されるものです。本日署名した事業が対象地の人々に直接裨益し、また、行政関係者によるサポートの下、建設される地域学習センターが末永く大切に使用されるとともに、十分活用されることを希望します。

ご静聴ありがとうございました。